

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】令和4年7月26日(2022.7.26)

【国際公開番号】WO2020/018932

【公表番号】特表2021-531002(P2021-531002A)

【公表日】令和3年11月18日(2021.11.18)

【出願番号】特願2021-502769(P2021-502769)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/12(2006.01)

C 1 2 N 15/10(2006.01)

C 0 7 K 14/715(2006.01)

C 1 2 N 15/63(2006.01)

C 1 2 N 1/15(2006.01)

C 1 2 N 1/19(2006.01)

C 1 2 N 1/21(2006.01)

C 1 2 N 5/10(2006.01)

A 6 1 K 38/17(2006.01)

A 6 1 P 35/00(2006.01)

A 6 1 K 39/395(2006.01)

10

20

【F I】

C 1 2 N 15/12 Z N A

C 1 2 N 15/10 2 0 0 Z

C 0 7 K 14/715

C 1 2 N 15/63 Z

C 1 2 N 1/15

C 1 2 N 1/19

C 1 2 N 1/21

C 1 2 N 5/10

A 6 1 K 38/17

A 6 1 P 35/00

A 6 1 K 39/395 Y

30

【手続補正書】

【提出日】令和4年7月15日(2022.7.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

40

【特許請求の範囲】

【請求項1】

可溶性白血病抑制因子受容体(LIFR)ポリペプチドであって、配列番号2に対して少なくとも90%の同一性であるアミノ酸配列を含み、前記LIFRポリペプチドが、対応する野生型LIFRポリペプチドと比較して、白血病抑制因子(LIF)に対して増加された結合親和性を示す、可溶性LIFRポリペプチド。

【請求項2】

H 2 4 0 位、T 2 7 3 位、N 2 7 7 位、またはそのいずれかの組合せにおけるアミノ酸置換を含み、ここで位置の識別は、配列番号2に対するものである、請求項1に記載の可溶性LIFRポリペプチド。

50

## 【請求項 3】

H 2 4 0 R アミノ酸置換、T 2 7 3 I アミノ酸置換、またはその両方を含む、請求項 2 に記載の可溶性 L I F R ポリペプチド。

## 【請求項 4】

N 2 7 7 D アミノ酸置換を含む、請求項 3 に記載の可溶性 L I F R ポリペプチド。

## 【請求項 5】

I 2 1 7 V アミノ酸置換、L 2 1 8 P アミノ酸置換、N 2 4 2 D アミノ酸置換、I 2 5 7 V アミノ酸置換、I 2 6 0 V アミノ酸置換、V 2 6 2 A アミノ酸置換、またはそのいずれかの組合せを含む、請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載の可溶性 L I F R ポリペプチド。

## 【請求項 6】

配列番号 2 に対して少なくとも 9 5 % の同一性であるアミノ酸配列を含む、請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載の可溶性 L I F R ポリペプチド。

10

## 【請求項 7】

前記可溶性 L I F R ポリペプチドが、1 つ以上の異種ポリペプチドに融合されている、請求項 1 ~ 6 のいずれか一項に記載の可溶性 L I F R ポリペプチド。

## 【請求項 8】

前記 1 つ以上の異種ポリペプチドが、Fc ドメイン、アルブミン、トランスフェリン、X T E N、ホモ - アミノ酸ポリマー、プロリン - アラニン - セリンポリマー、エラスチン様ペプチド、およびそれらの任意の組み合わせからなる群から選択される異種ポリペプチドを含む、請求項 7 に記載の可溶性 L I F R ポリペプチド。

20

## 【請求項 9】

前記 1 つ以上の異種ポリペプチドが、Fc ドメインを含む、請求項 8 に記載の可溶性 L I F R ポリペプチド。

## 【請求項 10】

前記 1 つ以上の異種ポリペプチドが、配列番号 4 に対して少なくとも 9 0 % の同一性であるアミノ酸配列を含む可溶性糖タンパク質 1 3 0 ( g p 1 3 0 ) ポリペプチドを含み、前記 g p 1 3 0 ポリペプチドが、対応する野生型 g p 1 3 0 ポリペプチドと比較して、白血球抑制因子 ( L I F ) に対して増加された結合親和性を示し、前記可溶性 L I F R ポリペプチドおよび可溶性 g p 1 3 0 ポリペプチドがリンカーを介して融合されている、請求項 7 ~ 9 のいずれか一項に記載の可溶性 L I F R ポリペプチド。

30

## 【請求項 11】

第 2 の請求項 1 ~ 1 0 のいずれか一項に記載の可溶性 L I F R ポリペプチドと二量体化されている、請求項 1 ~ 1 0 のいずれか一項に記載の可溶性 L I F R ポリペプチド。

## 【請求項 12】

各可溶性 L I F R ポリペプチドが Fc ドメインに融合されており、二量体化が前記 Fc ドメインを介している、請求項 1 1 に記載の可溶性 L I F R ポリペプチド。

## 【請求項 13】

請求項 1 ~ 1 0 のいずれか一項に記載の可溶性 L I F R ポリペプチドをコードする核酸。

## 【請求項 14】

請求項 1 3 に記載の核酸を含む、細胞。

40

## 【請求項 15】

請求項 1 ~ 1 0 のいずれか一項に記載の可溶性 L I F R ポリペプチドと、薬学的に許容される担体とを含む、医薬組成物。

## 【請求項 16】

治療有効量の前記医薬組成物を、必要とする個体に投与することを含む方法における使用のための、請求項 1 5 に記載の医薬組成物。

## 【請求項 17】

前記必要とする個体が、がんを有する個体である、請求項 1 6 に記載の医薬組成物。

## 【請求項 18】

50

前記がんが、膵臓がんである、請求項 17 に記載の医薬組成物。

【請求項 19】

請求項 15 ~ 18 のいずれか一項に記載の医薬組成物と、  
必要とする個体に前記医薬組成物を投与するための説明書と  
を含む、キット。

【請求項 20】

前記医薬組成物が、2つ以上の単位剤形で存在する、請求項 19 に記載のキット。

10

20

30

40

50